

# 2023年日本経済の展望

白鷗大学経営学部教授  
嶋中雄二



\*コロナ禍の現状について

\*訪日外国人、交易条件は改善せず

\*アメリカのインフレはピークアウトした

\*中国景気は10―12月期に底入れも

\*悪くない日銀短観の数値

\*日本は22年度後半調整し立ち直りか

\*日米とも金融の引き締め過ぎは回避を

\*上向き生産性と設備投資

\*設備投資増につれて景気拡張の動き

\*2023年からゴールドデン・サイクル入り

**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）

本日は、もうすっかり恒例になりましたが、今年もおしまいでございますので、最終日は嶋中さんに来年の景気を占っていただくということで、いつものようにさせていただきたいと思えます。

長年お勤めになられた三菱UFJモルガン・スタンレー証券をお辞めになりました、現在白鷗大学で教鞭を取っておられます。古巣の協力でいつものお渡しする資料はでき上がりしましたので、お持ち帰りいただきたいと思えます。自由になられてもう少し羽目を外していただけるかなと思いますが、そういうご性格でもないかもしれませんので、できればそういうところも今日は見たいなと思いつながら参りました。

それでは嶋中さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

## コロナ禍の現状について

**嶋中** 改めまして、白鷗大学経営学部教授の嶋中でございます。よろしくお願ひいたします。

本日は、2023年日本経済の展望についてお話しするわけでありますが、今、柴生田理事長をご紹介いただきましたように、私の古巣の三菱UFJモルガン・スタンレー証券の協力を得まして、私の意見を伝える資料を作成して参りました。いちばん後ろに座っている鹿野達史君は、私が景気循環研究所をやっていたときの副所長でございます。彼の協力の下に資料ができ上がりましたので、これを基にお話をさせ